

## 2 「信州教育スタンダード」の設定及び推進

本県の教育の質を将来にわたり維持・向上していくためには、信州教育の伝統や財産、優れた教育水準を次世代に受け継ぎ、充実させる必要があります。

また、今後も社会のグローバル化や価値観の多様化が一層進むことが見込まれる中で、豊かな自然や歴史・文化など長野県の特徴や強みを活用し、長野県民としてのアイデンティティ（帰属意識、同一性）を育む教育の重要性が増しています。

そこで、長野県ならではの教育として、県の取組だけでなく、県民全体で理念を共有して守りたい「教育の伝統」や、維持・充実したい「教育活動」、実現したい「教育目標」を「信州教育スタンダード」として次のとおり示します。

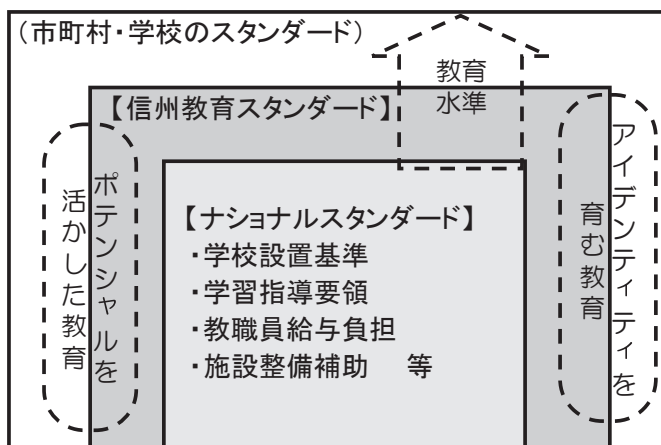
また、長期的な視点で、「信州教育スタンダード」の推進により実現したい未来の姿を併せて提案します。

次に掲げた事項の他にも、「信州教育スタンダード」と呼ぶにふさわしい教育活動や教育目標を、計画期間中に掘り起こし、検証してスタンダードとして明確化します。

「信州教育スタンダード」は、個々の学校や市町村、教育関係者に取組を強制するものではありませんが、その実現や充実に向けて、県として必要な施策・事業を推進するとともに、積極的な周知・啓発活動（PR、キャンペーン）により学校・家庭・地域・企業・市町村等の連携協力を促進します。

### 【参考：スタンダード設定の視点】

- 長野県の特徴（ポテンシャル）を活かした教育
- 県民としてのアイデンティティを育む教育
- 優れた教育水準



◇◇◇ 「信州教育スタンダード」設定（推進）項目 ◇◇◇

| 区分 | スタンダード（教育の特長や目標とする教育の具体像）  | ⇒ | 推進して実現<br>したい未来の姿                   |
|----|--|---|-------------------------------------|
|    | 【設定の理由・趣旨】   |   |                                     |
| 活動 | 国にさきがけて小・中学校 30 人規模学級編制が実現している   | ⇒ | 児童生徒へのきめ細かな支援が充実し、一人ひとりが能力を十分伸ばしている |
|    | 県独自の教員配置により、小学校については 35 人以下の学級の割合が全国 3 位（H23 現在）の高さであり、中学校についても平成 25 年度に 30 人規模学級編制が 3 年生まで拡大する予定。今後も全国トップクラスの学習環境を維持していく。 |   |                                     |
| 伝統 | 信州の自然や特色を生かした体験学習（中学校集団登山、スキー・スケート教室、農林業体験等）が活発  | ⇒ | 信州に誇りと愛着を持つ人材が育っている                 |
|    | 学校行事として中学校集団登山、スキー・スケート教室等の冬季スポーツ、農林業体験など、子どもたちの記憶に残る長野県ならではの体験学習が活発に行われている。引続き関係者が協力して維持していきたい。                           |   |                                     |
| 目標 | 全ての高校生（全日制）が卒業するまでに就業体験活動*を行うようにする   | ⇒ | 高校生が将来に対する目的意識を持って成長している            |
|    | 地域や産業界の協力を得て高校生のキャリア教育を積極的に推進し、現在の就業体験率 1 / 2 程度を全国トップレベルの水準に引き上げ、長野県教育の特長にしていきたい。   |   |                                     |
| 伝統 | 学校で県歌「信濃の国」や地域の歌を学んでいる   | ⇒ | 全ての県民（県出身者）が「信濃の国」を歌え、信州に誇りを持っている   |
|    | 多くの県民が、学校で「信濃の国」や市町村の歌を習い、大人になっても愛着を持って歌っていることは、他に例を見ない本県独自の特色であり、今後も維持・充実していきたい。  |   |                                     |
| 目標 | 県内の幼稚園・保育所、小・中学校で長野県オリジナルの「運動プログラム」による体力向上に取り組む  | ⇒ | 子どもたちの体力・運動能力が向上している                |
|    | 幼児期からの発達段階に応じた楽しさの要素を取り入れた長野県オリジナルの運動プログラムを作成している。全ての幼稚園・保育所、小・中学校に普及し、長野県の特長にしていきたい。                                      |   |                                     |
| 伝統 | 子どもたちが身近な地域行事に積極的に参加している（全国トップクラス）   | ⇒ | 子どもたちが社会性や郷土愛を身に付けて成長している           |
|    | 各地の地域活動や行事が活発に行われ、参加している児童生徒の割合が全国トップクラスである。引続き関係者が協力して維持・充実していきたい。  |   |                                     |

| 区分 | スタンダード（教育の特長や目標とする教育の具体像）  | ⇒ | 推進して実現<br>したい未来の姿                  |
|----|--|---|------------------------------------|
|    | 【設定の理由・趣旨】   |   |                                    |
| 目標 | オリジナル指導資料「信州“Basic”(ベーシック)」※を全ての義務教育教員に浸透させる   | ⇒ | 効果的な指導が行われ、子どもたちに確かな学力が身に付いている     |
|    | 長野県教育が重視してきた授業づくり、教員が心がけるポイントを整理したオリジナルの指導資料を作成している。指導力向上のため義務教育関係教員に広く普及していきたい。                               |   |                                    |
| 目標 | 長野県らしい特別支援教育の地域化を進める<br>(特別支援学校分教室※設置、副次的学籍※導入の取組)   | ⇒ | 障害のある子どもたちが身近な地域で同年代の友と共に学んでいる     |
|    | 全国で3番目に設置した特別支援学校の分教室や副次的な学籍導入による日常的な交流及び共同学習の促進等の地域化を進めている。障害のある子どもができるだけ身近な地域で必要な教育を受けられる体制を構築したい。           |   |                                    |
| 伝統 | 活発な公民館活動が行われている<br>(公民館数、利用者数が全国一)   | ⇒ | 多くの県民が身近な地域で自分の興味・関心や地域課題に応じて学んでいる |
|    | 公民館活動が活発で、公民館数、公民館利用者数が全国一多く、県民の学習意欲が高い。今後も生涯にわたり学び続けることのできる基盤を維持・充実していきたい。                                    |   |                                    |
| 目標 | 各地域で通学合宿が活発に行われるようにする  | ⇒ | 子どもたちが生活の知恵や社会性、人間関係形成力を身に付け成長している |
|    | 地域コミュニティ組織やPTA、学校等が連携して、公民館等で異年齢の小学生が共同生活しながら通学する合宿を県として推進し、長野県の特長にしていきたい。                                     |   |                                    |
| 活動 | 冬季アスリートを発掘・育成する取組「SWANプロジェクト」※に取り組んでいる   | ⇒ | SWAN プロジェクト出身のオリンピック選手が活躍している      |
|    | 長野オリンピックの財産である人的・物的・環境資源を活用して、冬季競技の素質のある子どもたちを発掘し、世界で活躍するアスリート(競技者)を育成する取組を行っている。今後も日本を代表する選手の輩出に向けて取組を継続していく。 |   |                                    |

【区分】の種類  
「伝統」：県民・学校等の自主的取組による優れた伝統で、施策を支える基盤となるもの  
「活動」：施策の推進の成果として、長野県の特長となっている活動  
「目標」：施策を推進して、新たな長野県教育の特長にしていきたい目標

【参考：基本目標、重点的な施策と「信州教育スタンダード」の関係】

